

# 平成31年度事業計画

## I はじめに

シルバー人材センター事業の傾向として、全国的に派遣事業は伸びており、請負・委任事業はやや低迷しつつあります。会員数には減少傾向が見られ、会員の拡大とこれに合わせた就業機会の確保が課題となっています。

新潟県内にも派遣が増加し、請負・委任が減少するセンターが多く見られます。会員数も減少傾向にあります。

小千谷市シルバー人材センターの現況においては、請負・委任事業、派遣事業とも契約金額は減少となっています。会員数も減少傾向にあります。

しかしながら会員の減少に反して、近年は人口減少による人手不足から高齢者の労働力が強く求められており、シルバー人材センターへの期待感が高まっています。

これを踏まえて全国シルバー人材センター事業協会では「会員100万人達成計画」（平成26から29年度）を策定し各センターとともに取り組みましたが達成状況は73.2%であったことから、引き続き「第2次100万人達成計画」（平成30から36年度）を策定し、会員の増加に取り組むこととしています。これにより全国の各センターには目標数が振り分けられ、当センターでは増加会員数150人超を目指すものとなっています。

平成31年度は、これらを踏まえながら次の事項を重点とします。

まず、会員の拡大です。前述のような状況から取組みを強化していかなければなりません。働く意欲のある高齢者に一人でも多く会員として入会していただき、就業していただくことがシルバー人材センターの使命でありますので、高齢者の受け皿としての機能を十分果たし、「社会の支え手」を実践できるよう役員、会員、事務局がさらに力を合わせて取り組むことが大切になります。

具体的には、今まで当センターにおいて実施していなかった1会員1名の加入勧誘をお願いする入会促進活動の実施や、入会説明会の説明内容の見直しなどを進めます。

併せて就業機会の拡大です。例年取組みを進めていますが、会員拡大を進めていく際は、前述の会員拡大に見合った就業先をさらに確保していく必要があります。具体的には市内の企業訪問を強化しシルバー会員の就業を促進するとともに、会員皆さんからもご近所やお知り合いにシルバー人材センターの仕事を紹介していただき、仕事の大小を問わず、受注に結び付く活動を推進していきます。

また、請負・委任事業において、成長分野の福祉・家事援助サービス事業、介護予防・日常生活支援総合事業などは地域に貢献する事業でありますので、底上げを図っていきます。

以上のような事項を踏まえ、当センターの平成31年度収支予算については、経常収益計が1億6,467万1千円で前年度当初予算と比較し692万5千円の減、経常費用計が1億7,036万4千円で前年度当初予算と比較し235万5千円の減、当期経常増減額は569万3千円の減であり、受託事業が減少する見込みなどによるものです。

当センターは、基本理念である「自主・自立・共働・共助」を堅持し、関係各位のご支援、ご協力をいただきながら、高齢者並びに地域社会の期待に応えられるよう、「生きがいと地域のニーズを結ぶ」事業の推進に取り組んでまいります。

## II 基本方針（第3次中期計画 平成30年度～34年度）

1. 会員（人材）の増強と育成
2. 就業機会の拡大と技術力の向上
3. 安全・適正就業の推進
4. 運営体制の充実と強化

## III 個別事業計画

### 【総務委員会】

健康で働く意欲のある高齢者が一人でも多く「社会の担い手」となり地域で活動ができるよう、またシルバー人材センター事業の意義を広く市民に周知すべく以下のことを実施します。

#### 1 会員の増強と融和推進

##### ①会員入会の促進

- ・入会説明会を、毎月1回（主に第3水曜日「サンラックおぢや」にて）行います。
- ・会員による新規入会者の勧誘活動を推奨し、会員が集う機会のほか必要に応じさまざまな機会に協力を呼びかけます。
- ・新規入会者増の取組みについて検討を行います。

##### ②会員親睦機会確保の促進

- ・シルバー人材センターにおける就業やボランティアなどの地域社会貢献に意欲的に参加しやすくするため、会員同士の親睦活動に協力します。

##### ③会員の資質向上の促進

- ・必要に応じて検討及びシルバー人材センターに協力します。

## 2 地域社会への貢献

### ①ボランティアによる美化活動の実施

- ・公共施設を会場とし、各委員会、地域班長等に協力を求めながら、多くの会員有志に参加を呼び掛けて実施します。

## 3 小千谷市が行う高齢者福祉事業等への協力

### ①おぢや健康福祉まつりに参加

- ・各委員会及びサークル等に協力を願い、シルバー人材センターのPRコーナーを運営します。

## 【安全・就業委員会】

### 1 安全研修の実施

- ・交通事故防止講習を実施します。
- ・刈払機除草作業中に起こる事故防止のため、安全に効率よく就業ができるように研修会を開催します。
- ・ドライビングスクールへの積極的な参加を促します。
- ・県連合等が主催の研修会へ出席します。
- ・必要に応じて先進センター視察研修を計画します。

### 2 就業現場の巡回強化

- ・就業現場での巡回指導を随時実施し、安全就業を行い「事故ゼロ」を目指します。
- ・巡回時に会員一人ひとりの事故防止に対する意識を高揚させ、安全用具の着用や傾斜地での転落防止を呼びかけていきます。
- ・新潟県シルバー人材センター連合会と合同で、他センターへの巡回指導を実施します。

### 3 事故防止の徹底

- ・入会者に対する安全就業指導を行います。
- ・就業に際しての安全確認、往復時の交通事故防止を呼び掛けます。
- ・事故発生状況の周知と検討により再発防止策を探りながら会員に周知を図ります。
- ・グループ就業の場での就業前ミーティング等を重要視し、安全就業に対する意識の向上を促します。
- ・各種会議等において安全就業の重要性を呼び掛けます。
- ・安全具着用を推進し、用具からの転落防止や傾斜地等作業時の事故防止の徹底を促します。
- ・資料や広報誌を活用し事故防止を促します。

- 4 作業用具類の管理
  - ・作業機械器具類、安全保護具などの定期点検、整理整頓を強化します。
  - ・自動車の運転前後の確認を促します。
  - ・自動車の定期的に点検、車内整理を実施します。
  - ・自動車運転日誌の確認をします。
- 5 安全就業強化月間（7月）における安全就業の周知徹底
  - ・安全就業を強化するために会員へ周知します。
  - ・救急用品の携帯を推進します。
  - ・身体機能の低下に対応するため、定期的な健康診断の受診を呼びかけます。

## 【広報委員会】

- 1 事業の啓発活動等の計画立案及び宣伝に関すること
  - ・センターの会報誌、パンフレットおよびホームページ等を有効活用し普及啓発に努めます。
  - ・小千谷市等が開催する各種イベントへ参加し、広報活動に努めます。
  - ・必要に応じて市の広報誌や地域紙等に取材、情報掲載を依頼します。
- 2 会報の企画、編集に関すること
  - ・年2回、会報誌「ばわすこ小千谷」を編集発行して、センター会員、関係機関、各種企業・団体等へ配布することにより、センターの組織や事業活動についての情報提供、センターの普及啓発等に努めます。
  - ・見やすく、親しみのある会報誌の発行を目指します。
- 3 事業啓発用パンフレット等の編集に関すること
  - ・既存の掲示物やパンフレット等の編集を行い、引き続きセンターのPRに努めます。
  - ・センターの事業に応じた掲示物やパンフレット等の作成や編集を検討します。
- 4 ホームページの管理運営に関すること
  - ・利用頻度を高めるために、内容の充実、最新情報の更新を図り、センターのPRに努めます。

## 【理事会及び事務局】

- 1 公益社団法人としての機能強化への取組み
  - ・理事会、委員会の活性化を図ります。
  - ・職群班、地域班の強化を図ります。
  - ・会員の交通安全や接遇・マナーに関する研修を行い、資質の向上を図ります。
  - ・事務局職員の企画力・事務能力向上を図ります。
- 2 財政基盤の確立、経営効率化への取組み
  - ・自主財源の確保に努めるとともに、補助金を適切に判断し、堅実な財政基盤を確立します。
  - ・事務の効率化を進め、印刷物の内製化、用紙の再利用などにより経費削減に努めます。
- 3 情報の提供
  - ・関係機関の印刷物や当センターのチラシを活用して情報を広く提供し、会員拡大や適正就業を推進するとともに、事故の防止を図ります。

## 【参考】 平成31年度目標値

会 員 数	粗入会率	受注件数	就業延人員	契約金額	就 業 率
4 1 2 人	2 . 8 %	2 , 4 0 4 件	3 3 , 8 4 9 人 日	1 7 6 , 0 4 8 千 円	9 2 . 8 %

※ 表中の数値は、請負等に係る当センター事業の数値と県連合会小千谷市事務所の派遣事業の数値を合計したものです。

※ 粗入会率は当市の60歳以上の人口に占める会員数の割合です。

※ 就業率は年度内就業者数÷年度末会員数で示したものです。